

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・地上デジタル放送の盛り上がりで、テレビ等の動きが良くなっている。さらに、エコポイント効果も徐々に上がってきている。
		百貨店（販売促進担当）	・昨年9月の米国の大手金融機関の破たん以来の大変な消費の冷え込み時期に比べれば、マインド的に客は少なからず新しい商品を求める傾向にある。今後はアパレルを中心に春夏のような底を脱した感があるので、店頭での売上向上に期待が出来る。
		スーパー（統括）	・食品の単価はさらに下がるものの、来客数、点数が徐々に戻り始めてきており、年末に向けて多少明るい兆しが見え始めてきている。
		コンビニ（経営者）	・これから暮れの商戦が始まるので売上が少し伸びる。
		コンビニ（経営者）	・年末商戦が始まること、競合店のリニューアルオープンが12月ごろと聞いているので、それまでは良くなる。
		家電量販店（店長）	・年末年始に向けて、エコポイントによる購買の動機付けがこのまま作用すれば、景気は期待出来る。
		旅行代理店（従業員）	・これ以上景気が悪化することはない。新しく政権も変わったので、景気に対する期待感がバックアップをして、旅行需要もどんどん喚起されてくるのではないかと思われる。
		その他レジャー施設 〔アミューズメント〕 （職員）	・平均単価を落としながらも、家計全体を縮小均衡する傾向である。9月の大型連休や高速道路料金引下げがあったが一時的なもので、縮小均衡の中で我々のような低単価で楽しめるものはそれほど苦しくはないので、ある程度は回復する。
	変わらない	商店街（代表者）	・プレミアム付き商品券を発行しても80%の人が大型店に流れてしまう現状である。駅前通りといっても昼間は相変わらず閑古鳥が鳴いている。
		一般小売店〔精肉〕 （経営者）	・今のところ良くなる話題があまり無い。外に出ても沈んでいるというような寂しい話が多い。
		百貨店（総務担当）	・本県では10月より子どもの医療費が無料になるので多少は品物の動きに転化する。
		百貨店（営業担当）	・客の消費動向を見ていると、やはり慎重になっており、複数点数を買わないというのがよく目立つ。今後も余計なものは買わない傾向が続く。
		百貨店（営業担当）	・景気が悪くなり、1年が経つころには下げ止まりも弱くなるが、失業率など社会情勢を考えると、予断を許さない。
		百貨店（販売促進担当）	・大半の客の消費行動における最優先事項は価格となっており、また、高速道路料金引下げ等による郊外への流出が増加する中、更なる来客数減少、客単価低下が予想される。
		スーパー（総務担当）	・期待感はあるが、なかなかそれが実態に結び付いていない。期待している減税等が実行され、それが実態に結び付くかといったところがポイントとなる。
		コンビニ（店長）	・特別客の購買の様子に変化はない。
		衣料品専門店（店長）	・衣料品の動きが全体的にも厳しい。
		衣料品専門店（店長）	・ボーナスシーズンではあるが、円高や株価の下落等があるために支給の厳しい企業が多く、財布のひもはなかなか緩まない。
		衣料品専門店（統括）	・この時期は当店では売上が上がる時期でもあり、来客数も増える時期であるが、非常に心配される状況が続いている。客が1日でも早く、買いたいという気持ちになって欲しい。
家電量販店（営業担当）	・国の補正事業関係では、見直しや凍結などで予定していた案件がストップしている。何か月もかけて進めていた仕事の修正ができない。		
乗用車販売店（販売担当）	・中古車の落ち込みが厳しい。今のままの状態であれば悪い状況が2、3か月先も変わらない。		
乗用車販売店（営業担当）	・ハイブリッド、エコカー以外の商談が少なく、車検、板金等サービス面での需要が少し多くなってきている。会社内の売上比率を見ても高くなってきている。		
乗用車販売店（営業担当）	・車が売れる要素が全く無い。		
自動車備品販売店（経営者）	・非常に収縮型というか、工場の仕事が無く、それに関連して周辺の住民等が大分不安になっている。金を使うことを大分押さえているので、将来的に受身になり、良い期待は出来ない。		

住関連専門店（仕入担当）	・デフレの基調は今後も続き、加速する。
住関連専門店（開発業務責任者）	・将来に対しての不安感が払しょくされないと、買物の動向が上がらない。
スナック（経営者）	・客の話では、倒産している会社が多くなってきており、新しく客が増えるのは難しい。
観光型ホテル（営業担当）	・当地は冬がオフシーズンとなるため、グリーンシーズンの好調がこれからも続くものかは見当がつかず、営業努力にかかっている。
都市型ホテル（経営者）	・自動車産業の町なので円高になるとますます厳しくなる。
都市型ホテル（支配人）	・この先の予約があまり入っていない。ビジネスの動きがまだまだ弱い証拠である。
都市型ホテル（スタッフ）	・単価ばかり安くなっていては、老舗は本当に負けてしまう。新しい宿泊特化型ホテルが進出しても、やはり非常に厳しい。大手企業が動かないというのは今後も非常に危惧される状態である。
旅行代理店（支店長）	・個人の旅行は2、3か月先も同じような感じが続く。特に年末年始が絡んでくるので個人需要は変わらない。団体法人関係は新型インフルエンザが大きく影響するのでそれによって今後の販売、景気にかかわってくる。
テーマパーク（職員）	・一部の業種においては景気の改善が見受けられるものの、世間一般にはまだまだであり、かつ、旅行などの娯楽費に反映するまでは時間を要する。
遊園地（職員）	・来客数は前年を上回る状況が続いているが、一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、もうしばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。
ゴルフ場（従業員）	・来場予約はほぼ前年と同じである。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・競合他社の1社が閉場したことによって、当社に回ってきて若干上向きであるが、客は1日分の料金を払う安いところへ流れているようで、平日、土日の料金格差が出てきている。全体的な売上増にはなっていない。
その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・退会者のアンケートの動向でフィットネスクラブの料金が安いという項目が1番になっているところから、財布のひもが非常に固くなっている。今後も非常に厳しい。
設計事務所（所長）	・今のような悪い状況のまま推移する。
設計事務所（所長）	・来月は決算キャンペーンということもあり、1人でも多く客に来場してもらい、1つでも多く受注できるよう努力したい。
住宅販売会社（経営者）	・非常に物が動かなくなっている。デフレも非常に進んでいるので、客がもっと下がるだろうと買い控えの状況にある。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・秋の運動会シーズンが始まったが、余計な物は絶対に買わない。世の中の金回りも悪くなっており、ますます必要以外のものを買わなくなる。
商店街（代表者）	・年末商戦の話がでてこない。イベントの企画も今一つ乗りが悪く、商店街の店は空き店舗が埋まらずにいる。
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・地域の工場の受注状況はまだまだ回復しきらず、新たに人員の整理に入るところもある。また、10月目安で閉鎖の工場もあり、工場内の需要増はまだまだ見込めない。個人消費も更に冷え込む可能性もある。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・最近、客単価が低くなって、高級品が売れず客は安いものばかりに集中している。これからの年末商戦に向けて思いやられる。
スーパー（経営者）	・消費者の節約志向は更に強まっていく。
スーパー（経営企画担当）	・デフレ化の勢いはまだまだ止まらない。
コンビニ（店長）	・今月は3か月前比売上90%、昨年同月が3か月前比105%で前年比88%と、下げ止まる気配がまるでない。近くに新設された8月より稼働しているショッピングタウンが最大の影響であるが、客が値段の安いほうへとシフトして、買上単価が大きく落ちている。3か月後の年末商戦は、我々零細商店にとってますます厳しさが増す。
衣料品専門店（販売担当）	・来客数そのものが減っている。そのような中でこれからこまめにいろいろな工夫をしていきたいとは思っているが、それでもやはり先行き不安が払しょくしきれない部分があるようで、反応が鈍い。
一般レストラン（経営者）	・このところ既存の商店街は常連客のみで、夜のフリー客減少が客単価低下につながっている。

		観光型ホテル（経営者）	・前年比で10月以降の来客数が昨年より減少している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・新型インフルエンザのまん延シーズンに入って来ているため、その警戒感からか来客数が減ってくる。
		旅行代理店（副支店長）	・秋から冬に新型インフルエンザの影響で旅行客の減少が予想される。また、燃油の値上がりも気になるところで、燃料値上りは旅行客だけではなく景気に影響してくる。
		通信会社（経営者）	・家電はエコポイントの関係で多少商品が動いているが、それ以外の商品はほとんど動かない。景気回復の兆しも見えない状況である。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地域の仕事量が減っていくのをひしひしと感じる。町工場の縮小による従業員、特にアルバイトが切られている中、毎年車検があるはずの貨物自動車も減車している。
		住宅販売会社（経営者）	・売り地在庫が数年前からの奇跡的な手配より確保できているが地価下落で地主が手放そうとしないことから、在庫の確保が困難となっている。地価下落で計画を下方修正せざるをえない。
	悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・大企業が帰休等により、従業員等の給料も月3～5万円の減少となっており、当店より500メートルくらいのところに大型ショッピングセンターが間もなくオープンするので売上が悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・来月、目の前の角のところに競合店がオープンする。
		スナック（経営者）	・どこまで落ちていくか全く見えない。
		設計事務所（経営者）	・先が全然見えない。建設業界はまだまだ厳しい。
		設計事務所（経営者）	・受注が減っている。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月インフォメーション上でも、月を追って増加傾向に入ってきている。昨年と比べると様変わりし、2年前の水準に戻りつつあるという状況で、景気は上向きに戻りつつある。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・ものづくり中小企業製品開発等支援補助金の採択が決まり、その他の開発品の仕事が重なって行くので、9月から7か月間、通常の生産営業活動と重なる。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・これからぶどう狩りのシーズンになり工場の見学者も増え、ポジションレニューオーの効果も出てくる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・短期間のスポットではあるが自動車関連の増産に伴い、部署によっては3直24時間の生産体制をとる予定であり、売上は確実に上昇する見込みである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・前年比の受注高は当月65%となっている。10月以降、70%まで回復する予定である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先の新機種受注に期待をしている。
		輸送業（営業担当）	・冬物や家電商品等の物量はそこそこ動いているが、デフレによるコスト見直しや運賃値下げ依頼もあり、厳しいこともある。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・親企業からの注文は増えず、単価はどんどん下がるだけで、良いことは無い。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・すでにかなりの落ち込みをしており、それ以上の落ち込みはない。秋口に需要が回復出来ない会社と危機的な状況に陥る。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・チラシ出稿の中で、スーパー関係でも枚数を絞り込んできている店があり、サイズ、色共にダウンするケースも見られる。
		経営コンサルタント	・雇用、家計の先行き見通しが不透明なため、企業の動向も見えにくい。
		社会保険労務士	・今のところ年末にかけて受注が増えていく様子がない。だからと今の状態がしばらく続く。
		司法書士	・今月良かったのは一過性であり、今後も厳しい状況が続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資は先送りになっており、厳しい状況は当分続く。
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・いまだにデフレ傾向であり、競争相手は当社の原価で販売している。一体どんな製造工程、流通、経営をすればそのような価格で出来るのか。適正な価格帯が求められるが、スーパーとの価格競争の狭間で会社の体力が奪われるのも時間の問題である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・客はかなり厳しく、それが受注量の減少につながっている。状況の変わり映えがしない。

		電気機械器具製造業（経営者）	・民間の設備投資が冷えているなか、9～10月は景気対策のお陰で売上が少し伸びそうだが、11月以降は元に戻ってかなり状況が悪くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注が無く、全く先が見えない。不安のみが残って、会社の維持をするのがやっとの状況である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・公共事業の仕事も10月ぐらいで一段落してしまう。11月以降の仕事量の減少を非常に心配している。
		金融業（総務担当）	・経費をさらに削減するよう指示が来る予定であるが、削れるところはかなり削ってきたのでもうやりようがないという感じである。毎年定期的に掛かる支出についても以前はすんなり承認されたが、少しでも減額できないかとか、緊急性のないものはもう少し先に等と言われるようになってきている。
	悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・季節商材はわずかながら受注出来たものの、年末年始の受注状況及び自社製品販売見込みは全く予想できない。
		金属製品製造業（経営者）	・客からの説明会があり、10月から仕事が半分になる。
		建設業（総務担当）	・安値受注のため決算は赤字であり、4期連続の赤字になる。このことで金融機関からの追加融資が受けられず、資金繰りに大きな問題を常にかかえている状況である。
		広告代理店（営業担当）	・地元経済に回復という文字のかけらも見えない。倒産の噂がまた増えてきている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・一時帰休等の雇用調整が一段落する会社が出て来ているが、エコ関連政策の状況を見ながらの動きである。求人募集も期間契約社員等の臨時的な求人が目立つ。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・野菜果物が一部を除いては微量だが上がってきている。所得割合についても、製造業関係の給与、ボーナスも頭打ちの状態もしくは減ったと企業の話をしているので、この先も不透明感が見受けられる。
		人材派遣会社（経営者）	・今までは季節のサイクルによって、忙しくなったり暇になったりするのだが、季節に関係なく仕事の量が減っている。
		職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数が、21期連続して前年を下回っている。世界経済危機の影響による景気の低迷から運輸業、製造業、情報通信業関係からの求人数減少が見られる。
		職業安定所（職員）	・企業側の求人、採用意欲が低調なままである。また、解雇などの事業主都合による離職者が依然単発的に発生している。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・製造業派遣の禁止で、大手企業は海外に雇用を求め、国内は仕事なくなる。今回の景気の上向きがあるとすれば、ジョブレス・リカバリーである。雇用情勢は、深刻である。
		職業安定所（職員）	・製造業、建設業をはじめとする管内の企業における人員整理、企業倒産等が徐々に増加しつつある。
	悪くなる	-	-